

第43回

ピティナ・ピアノコンペティション

「四期」が学べるピアノコンクール

2019年

3月1日 課題曲発表 4月1日 申込受付開始

The 43rd
PTNA
Piano Competition



甲府地区

申込締切日：5月13日(月)

先着順で受付。定員で締め切ります。

2019年6月15日(土)6月16日(日)

東京エレクトロン韮崎文化ホール (小ホール)

韮崎 I.C より 10 分 / JR 韮崎駅よりタクシー 10 分

【後援】山梨放送 / 山梨日日新聞社 【協賛】内藤楽器 (株)

【お問合せ】甲府支部 055-235-7110

地区予選 2019年 5月下旬～7月下旬

全国47都道府県200地区以上で開催

ピティナ | 検索

<https://compe.piano.or.jp/> 当協会ウェブサイトからWeb申込も可能！

ピティナ・ピアノコンペティションとは

■年齢や目的に応じて活用できる3部門

ピアノ学習の継続を多角的にサポート～指導者も成長できるコンクール

年齢とともにステップアップできる「ソロ部門」

小学生未満を対象とした A2 級から年齢制限のない特級まで、課題曲で四期を学びながらステップアップできます。

アンサンブルの楽しさを体験できる「デュオ部門」

デュオならではの音楽の響きと広がりを楽しめます。
2019 年度は隔年開催の 2 台ピアノ各級を実施。

生涯にわたるピアノへの情熱を応援する「グランミュージック部門」

中学 3 年生以上のピアノ愛好者が客観的評価を受ける機会として、多様なライフステージに応じたピアノ学習の継続を応援します。自由曲で参加できます。



	未就学	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	高 校 卒 業 22 歳	23 歳以上	40 歳以上	
ソ ロ	A2 級 (未就学)	A1 級 (小 2 以下)	B 級 (小 4 以下)	C 級 (小 6 以下)	D 級 (中 2 以下)	E 級 (高 1 以下)		F 級 (高 3 以下)		G 級 (22 歳以下)		特級 (年齢制限なし)		Pre 特級 (高校卒業以上、 または 18 歳以上)		ソロ部門 (課題曲コース)	
						J カテゴリー (中 3 ～高 3)		Y カテゴリー (高校卒業～ 22 歳)		A1 カテゴリー (23 歳以上)		A2 カテゴリー (40 歳以上)		グラン ミュージズ 部門 (自由曲コース)			
										B1 カテゴリー (23 歳以上)		B2 カテゴリー (40 歳以上)					
デュ オ	連弾初級 A (2 人とも小 2 以下)		連弾初級 B (2 人とも 小 4 以下)		連弾初級 C (2 人とも 小 6 以下)		連弾中級 A (1 人は中 3 以下)		D カテゴリー (連弾) (中学卒業以上)								デュオ 部門
									連弾中級 B (1 人は高 3 以下)		連弾上級 (1 人は 22 歳以下)						
	2 台ピアノ初級 (2 人とも中 3 以下)				2 台ピアノ中級 (2 人とも高 3 以下)				2 台ピアノ上級 (年齢制限なし)								

※ 2 台ピアノ各級は隔年開催

■課題曲は毎年3月1日に発表

3月1日発売の参加要項または当協会ウェブサイトをご確認ください。

保護者・参加者の声

目標を持ち、努力することを学べる

初めて参加しました。練習を重ねていくうちに、子供のコンクールに対する気持ちに変化が出てきました。「絶対合格したい!」という強い気持ちと大きな目標を持てたのは初めてです。

上手に弾くことも重要ですが、目標を持って、そのために練習を繰り返すことの大切さを学ばせていただいたこのコンクールに感謝しています。また、同じ年齢のお友達の演奏を聞く機会がありませんので、お友達の演奏も刺激になったようです。(A2 級/未就学)

採点票を励みに

採点票を通して予選で 5 人、本選で 7 人の審査員の先生方からいろいろな視点でご指導いただけることが勉強になります。(連弾中級 B / 高 1)
本番後、できなかったところを振り返り悔やんでいましたが、採点票で本人が気付いていない良いところをたくさん書いていただいたのを読み、落ち込んでいたのが一気に嬉しい気持ちに変わりました。(C 級/小 4)

様々な時代の作品に

出会う機会

レパートリーを増やすことを目標にしているので、時代ごとの課題曲に取り組むことがとても勉強になっています。(F 級/高 2)

ピアノを愛する人と出会える場所

仕事の合間を縫って練習を重ねてこれれた方々の演奏を聴き、「曲の仕上がりは人それぞれでいいんだ。その人ができる精一杯のことを発表すればいいんだ」と実感しました。会場で初めてお会いした方から声をかけていただいたり、同年代の審査員の先生から温かいコメントを頂いたりして、「これからも元気で弾ける間はずっと頑張りたい」と思いました。(A2 カテゴリー/50 代)

